

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成 28 年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
雲仙普賢岳におけるガリーの長期的な発達を考慮した土石流発生予測手法の開発 (研究期間：H28 年度～H30 年度)	宮崎大学 准教授 篠原慶規	B
<p><研究概要></p> <p>噴火後 25 年以上経過したにも関わらず、土石流の発生が報告されている雲仙普賢岳の水無川流域において、インターバルカメラや UAV 等を用いた計測により、水文プロセスと地形変化プロセスの両面を明らかにし、土石流発生予測モデルを構築することを目的とした。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、カメラや UAV を活用することで現地の地形変化の実態を捉えており、ロジスティック回帰分析を用いて土石流発生予測モデル構築の可能性を示されたことが評価に値する。</p> <p>今後は、研究成果の活用方法を見越して、観測に加えて地形や水文プロセス等を考慮することにより、土石流発生予測モデルの構築等をさらに検討頂くとともに、降雨とは直接関係のないと思われる冬季の小規模崩落の原因などを明らかにし定量的な評価を行って頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い